

松本純ホームページ▶https://jun.or.jp/

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp/

心静かに、安倍晋三元総理へ哀悼の誠を捧げました

国葬儀 尊敬する政治家として、お仕えした一国務大臣として

9月27日、日本武道館にて、安倍晋三元総理の国葬儀が執り行われました。歴代最長となる8年8か月にわたり総理を務められ、歴代最高となる法律を成立させました。また、地球儀を俯瞰する外交により、世界各国の要人と密接な関係を築き上げ、安倍総理が提唱した「開かれたインド太平洋」は今や世界の外交用語として定着し

ました。世界各国からの数多くの国賓クラスの 方々をはじめ4200人が参列、友人代表の菅元総 理「追悼の辞」は特に印象に残るものでした。

安倍晋三先生と麻生太郎先生は盟友といっても過言ではありません。兄弟のように仲良く、常に情報交換し、日本の進むべき方向を考えてきました。

勿論、最終的に決断するのは安倍総理ご 自身お一人ですが、麻生先生の助言も大い に心強いことだったでしょう。

この繋がりから、私に対しても大変温かい気遣いをしてくださったのが安倍総理でした。

2016 (平成28) 年8月3日に安倍総理から 日本の安全・安心の要である国家公安委員 長、防災担当大臣、消費者庁担当大臣など を任命されました。

「松本さん、災害など国民の命を守る対処 を間違えると政権が吹っ飛ぶ。心して任務 にあたるように」と、強いご指示をいただ きました。





無事に任期を全うし、ホッとしたのも束の間、昨年、私の軽率な行動から無所属で選挙に挑戦しなければならない事態が生じました。その時、安倍元総理から「今までの経験・実績を大切に、日本の将来に向け力を発揮して欲しい」と激励をいただき、選挙期間中、ご自身の地元の活動が終了するや否や、真っ先に私の応援演説に駆けつけてくださいました。

安倍元総理には感謝しかありません。大切な人を失ったことを改めて思い知らされた日本武道館の会場で、私は政治家である自分自身の足元を見つめながら、一人心静かに安倍元総理へ哀悼の誠を捧げました。

総認納

2003年6月16日創刊 発行 自由民主党 松本純後援会 発行責任者 平木 茂

10月号 2022年 No.235

問合せ●〒231-0064 横浜市中区野毛町2-65 電話045-241-7800 FAX045-253-0585

【2022年9月】



《9月》

- 2日●厚生労働省説明
- 3日●横浜元町フードフェア2022
- 4日●三艘浅間神社秋季祭礼
- 8日●ベンチャービジネスの現状について勉強会
- 9日●柴熊野神社秋季大祭・神事
 - ●㈱小俣組創業100周年記念感謝の集い

11日●第40回神整商・神整振フェスティバル

- ●麦田町元気朝市
- ●まつたけ会
- 14日●創薬・薬価についての勉強会
- 17日●東京国税労働組合第66回定期大会
 - ●大村悠県議・渡邉すみれ様結婚披露宴
- 18日●第22回金沢文庫芸術祭
 - ●日ノ出町大岡川桜桟橋お祭り広場完成記念式典

純



9/3 横浜元町フードフェア2022

●3年ぶり、20回目を迎えた今年の テーマは「復活」。2万人以上の来 場者で賑わう元町通りは飲食だけで なく音楽演奏も行われるなど、まさ に復活を物語る賑わいでした。



9/9 **柴熊野神社秋季大祭・神事** ●佐野主水宮司により斎行され、

松本純が町内会や氏子総代の方々と玉串を奉奠し柴町内会の安寧を 祈願しました。秋季祭礼は実りの 秋、収穫に感謝をする祭典です。



9/9 ㈱小俣組創業100周年記念感 謝の集い ●松本純は開会前、会場 をお訪ねし、市会議員時代からご 支援をいただいてきた小俣務社長 に創業100周年のお慶びと数々の



9/11 第40回神整商・神整振フェスティバル●神奈川県自動車整備技能コンクール、アドバイザー競技(受入・問診)、納車説明、実技競技・基礎作業競技等々、自動車産業のプロたちの技が光りました。





記

9/17 伊勢1・2丁目お三の宮神酒所訪問●本年度は大神輿巡行や連合渡御が中止となりましたが、伊勢佐木町1・2丁目では神酒所を開くことで祭りの伝統をつたえています。とび職の小島正男・政江ご夫婦にお会いしました。



9/17 大村悠県議・渡邉すみれさん 結婚披露宴●大村県議は2017年に松 本純事務所に入所、秘書活動後、金沢 区の国吉一夫県議の後継者として2019 年統一地方選挙で初当選を果たしました。松本純には感慨深い一日でした。



9/18 第22回金沢文庫芸術祭●「こどもの未来は地球のみらい」をスローガンに、何か生き生きすること、ワクワクする事を見つけるために始まった芸術祭。浅葉弾実行委員長は「思い切り楽しむ事が大事」と挨拶されました。



9/18 日/出町大岡川桜桟橋お祭り広場完成記念式典●松本純は祝辞で「日ノ出町が芸術文化の場に成長していることはこの上ない喜び、人との触れ合いを大切に、若い人達の感性をより活かしてほしい」と述べました。

「旧長濱検疫所一号停留所」保存を願って NPO法人野口英世よこはま顕彰会

現在、登録有形文化財・旧長濱検疫所一号停留所(厚生労働省横浜検疫所検疫資料館)の移転保存に向けた最終調整が横浜市と行われています。その一号停留所の保存と再生を、市民活動として唱えて来たのが金沢区文化協会の団体会員でもあるNPO法人野口英世よこはま顕彰会です。

野口英世は、明治32年、海港検疫医官補として長濱検疫所(金沢区)でペスト 菌の発見をするなど多くの業績を残しました。 NPO法人 野口英世よこはま 顕彰会はその業績の数々を記録保存し、地元金沢での顕彰活動を進めてきました。



NPO法人 野口英世よこはま顕彰会の田中常義理事長(右) と野口英世像(写真パネル)を挟んで坂直孝副理事長(左) ※金沢区長浜野口記念公園内長浜ホールにて

「野口英世博士の研究活動の痕跡が残る長浜検疫所の一号停留所は貴重な遺産。この貴重な建物と収蔵資料を後世に残し、検疫の歴史と業績、野口英世博士の偉業を多くの人に知っていただくことで、金沢区の誇りにしていただきたい」と田中常義理事長は話します。「旧長濱検疫所一号停留所」保存のための署名活動では6,272筆を集め、今後さらに多くの署名を集めたいとのこと。金沢区の歴史を掘り起こすNPO法人野口英世よこはま顕彰会の活動に、地元では大きな期待が高まっています。

【問合せ】事務局 〒236-0057 横浜市金沢区能見台1-13-8 金間誠一 電話 045(775)1612 **Email** ykn1138knm@gmail.com ホームページ https://noguchihideyo-yokohama.org/